

大学における出口を見据えた 学習支援

～学生が自ら学ぶ力を育てるために
図書館ができること～

第4分科会 第1グループ

平成22年11月10日-12日 大学職員情報化研究講習会(応用コース)



日本福祉大学
西南学院大学
東京家政大学
広島修道大学
大阪経済法科大学
東海大学
学習院大学

石川 宗臣
梶木 秀之
渡辺 尚也
津原 有美子
金 福和
西川 あづみ
米田 岳史

大学における出口を見据えた学習支援 ～学生が自ら学ぶ力を育てるために図書館ができること～

自己到達度を知る

学習習慣をつける

初年度からゴールイメージを
目標に持つ

アカデミックスキルの習得

職員のスキル向上
学生ニーズの把握

学習環境整備
学生一人ひとりに資料が届く

教員との連携・教職協働の実現

基盤：組織

□ 目的

教員との連携・教職協働の実現

□ 実現案

- 1) 教員・他部局と協働したWGをつくる
- 2) 図書館で実施可能なことを情報発信する

基盤：ソフト

□ 目的

学生ニーズの把握・職員スキルの向上

□ 実現案

- 1) 学生とのお茶会を定期開催する(意見交換)
- 2) 学生サポーター制度をつくる
※学生目線を取り入れた図書館展示を行う など
- 3) 学生アンケートの実施(Web)
- 4) 職員研修(対面・Web)

基盤：ハード

□ 目的

学生の多様な利用形態、ニーズにこたえる
施設環境・情報環境を整備する

□ 実現案

- 1)ラーニングコモンズを活用する
- 2)多様な閲覧席(個人ブース等)を設置する
- 3)参考文献の電子化
- 4)予算の獲得

出口を見据えた教育①

□ 目的

初年度からゴールイメージを目標として持つ
(4年後の自分)

□ 実現案

- 1)学生個人シート(Web)の情報共有
- 2)就職ガイダンスとの連携
 - ※就職関連DBの紹介など
 - ※OBによる初年次オリエンテーションの実施

出口を見据えた教育②

□ 目的

目標達成の段階的到達点を設定し、学習意欲を高める(自己到達度を知る)

□ 実現案

- 1)システム(クイズ形式・Eラーニング等)を構築する
- 2)セルフチェックシートの作成・活用

自ら学ぶ力を育てる①

□ 目的

アカデミックスキルの習得

□ 実現案

- 1)図書館ガイダンスを活用する(対面形式)
※OPAC講習、DB講習 など
- 2)Eラーニングによる図書館ガイダンスシステムを構築する

自ら学ぶ力を育てる②

□ 目的

学習習慣を身につける

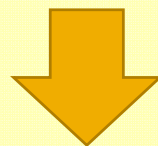
□ 実現案

- 1)過去に出題されたレポート課題DBを構築し
関連資料の提供
- 2)専門書読解講座の開催

まとめ



- ・教員、他部局との連携！
- ・図書館からの主体的な学習支援も必要！



- ・大学における出口を見据えた学習支援ができる！
- ・学生が自ら学ぶ力を育てるために図書館は必須！